



「生きる力」の育成

「知識及び技能」
「思考力、判断力、表現力等」
「学びに向かう力、人間性等」



未来を切り拓く人材の
育成と社会を生き抜く
力を育む教育の実現



「誇り高い沼津を創造する
貴き志を持つ人づくり」
人間力を磨く教育
地域総がかりで取り組む教育

《小中一貫教育目標》

志をもって 自分をみがき ともに挑戦する たくましい大平の子

<「志」とは、自分の夢実現・目標達成とともに、他者意識をもって、他者のために生きること>

《重点目標》

～ 考えよう 話し合おう やってみよう ～

《学校経営目標》

「一人一人笑顔で チャレンジできる学校」

一人一人が笑顔で自分の人生を歩んでいけるよう、全教職員で全児童に対し、寄り添い、伴走する学校づくり

<「一人一人」の対象は、子供、教職員、保護者、地域、外部機関、他校・・・>

<「笑顔」、「チャレンジ」に込めたのは、ウェルビーイング>

徳

多様性を理解し尊重し合える子を育てる
【1-2(3)】

知

自ら学ぶ子を育てる
【1-1(1)】

体

粘り強く心身を鍛える子を育てる
【1-3(1)】

【重点】自己有用感と他者と協働する力の育成(人権・道徳教育)

- ・子供の創意工夫を生かした学級活動・児童会活動・たてわり活動(互いを認め合える場の設定)
- ・《小中共通道徳教育重点内容項目》
「個性の伸長」「希望と勇気、努力と強い意志」「相互理解、寛容」

【重点】特別支援教育

- ・一人一人に寄り添った学級経営
- ・個に合わせて支援・指導・合理的配慮
- ・温かな居場所づくり
- ・特別支援教育 Co を中心とした組織対応

【重点】単元構想を大切にした授業

- 「生き生きと主体的に学び合う児童の育成」
- ・一人一人の主体性を大切に、自ら考えなくなる、伝えなくなる単元構想の工夫し、学ぶ楽しさを実感する授業づくり
- ・「子供から学習課題が生まれ、子供が解決方法を考え、対話し、考えが深まる」授業づくり

【重点】GIGA スクール構想

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の手立てとして
- ・情報活用能力の育成 (ICT の活用)
- ・学校での学びと社会との架け橋として

【重点】めあてに向かい、健康な心身づくり

- ・運動する習慣の確立
かけ足運動・なわとび月間の設定・カードの工夫・体力アップコンテストへの参加
- ・望ましい生活習慣への理解
- ・「食」への感謝 (食育授業)

【重点】地域・外部機関と連携・協働

- ・多くの指導者(伴走者)による子供のチャレンジ支援
- ・共に子供を育てる、双方に充実感
- ・学校運営協議会との連携
- ・CSディレクター・情報共有(地域の願いを知り、貢献するという視点をもつ)

【学校評価達成目標】

・学校には、楽しいことがある	90%	・自ら学ぼうとしている	90%	・目標に向かって運動している	85%
・よいところや頑張っているところがある	90%	・自分の考えを話す・書くことができる	80%	・給食を残さず食べる	90%
・自分も友達も大切にしている	90%	・Chromebook が活用できる	90%	・特色ある活動は楽しい	90%

一人一人に思いを巡らす わたしも大切 あなたも大切 みんな大切 「みんなちがって みんないい」

>>> 大平小の教育資源 <<<

- 豊かな自然・歴史・文化、農業地域、子供や高齢者を大切にしている風土、拡大家族と核家族、協力的な地域、基礎的知識技能習得への関心
- ・学校運営協議会 (R5 より)
- ・園小中一貫教育
- ・単学級(少人数) きめ細やかな支援
- ・異学年交流の充実(園・中)
- ・特別支援学級設置校

>> 大平の子供像 <<

～ 長所・短所 ～

- ◎素直、純朴、まじめ
- ◎献身的
- ◎相互理解
- ◎学年を超えた連帯感
- △自己有用感、主体性
- △規範意識
- △粘り強さ
- △基礎学力

>>> チーム大平 <<<

- ・教職員、児童、専門機関、保護者、地域、学校運営協議会がチームとなり、一人一人の力・知恵を総動員して対応(一人で抱え込まない、抱え込ませない組織を)
- ・子供も教職員も「個別最適な学び」「協働的な学び」を通して成長し続ける
- ・ワーク・ライフ・バランス
- ・「自分の人生を豊かに生きることが、よい教育につながる」取組の重点化
- ・不祥事根絶
- ・貴き使命感、温かく支え合う同僚性を培う